

地域連携のお知らせ

ボランティア報告

6月18日(木)の午後2時より、マンドリン&ギター『ら・マロン』のお二人による演奏会を開催しました。



全14曲を皆さんで大合唱し、楽しいひとときを過ごすことができました。

大きな声を出して、懐かしい歌を唄いました。

地域健康教室について

第19回 7月11日(土) 午後1時より 誰でもできる心肺蘇生(BLS)
石川病院ICLS委員会

第20回 9月12日(土) 午後1時より メタボリックシンドロームについて
講師:内科医 平野 勝

場所:石川病院 東館1階リハビリ室



看護フェアについて

5月20日に予定しておりましたが、新型インフルエンザの影響により、一旦中止させていただきましたが、この度、10月7日(水)に改めて開催させていただきますことになりましたので、お気軽にご参加下さい。

石川病院外来診察時間表

平成21年6月1日～

	内科		外科		整科		脳外		耳鼻咽喉	泌尿器	リハビリ科	ペインクリニック	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	予約制	予約制	
受付	7~12	3~5時半	7~12	3~7	7~12	3~6	2~4	予約制		9~11:30		予約制	
診察	9~12		9~12	3~7	9~12	4~6		10~12	1~4	10~12時半	2~4	9:30~	
月	平野 金岡	平野 小山	内田 石川	今脇 6時 中島	立石	立石 予約制 商廊	安藤 予約診 膝関節外来	藤田 初診 11~ 受付 12時					
火	小山	加古	中島 今脇	平田	立石 本館	高祖 商廊 受付4~6時 診察4~7時	安藤 予約診 一般3~5時 学生診 受付4~5時 診察5~6時		佐地	佐地		寺本 10~12時	
水	平野 金岡	平野 小山	中島 平田	今脇 5時					佐地				
木	高旗 予約制 金岡	高旗	岡大 平田	岡大 6時 中島				藤田 初診 11~ 受付 12時			寺本 15~17時		
金	小山 加古		石川 今脇 平田 6時	張	安藤 予約診 初診受付10時まで				佐地	佐地		大城 14時~	
土	日下 (隔週)		岡大 岡大	平田 石川	※第 2・4 午前のみ				第1・3 佐地	第1・3 佐地	武中 中野		

せせらぎ通信

[第30号]

[2009年7月1日発行]

〒671-0221 姫路市別所町別所2丁目150
TEL(079)252-5235 石川病院 広報委員会
発行責任者 事務長 三枝孝弘

地域のために 思いやりと
信頼性の高い 治療・看護を目指す

=今年も新しいスタッフが仲間入りしました=

リハビリテーション室 作業療法士 吉川 詠美

地域連携室 MSW 片山 奈世

入社式を終え、早くも3ヶ月が経ちました。初めは不安いっぱいでしたが、今は先輩方や患者様から学ばせて頂くことが多く、充実した毎日を送っています。優しく頼もしい先輩方を見習い、思いやりがあり、患者様から信頼される作業療法士になれるよう頑張ります。

感謝と思いやりを持って誠心誠意、患者様やご家族のお役に立てるように頑張りたいです。日々の経験を重ね、周囲の方々のお力も借りながら、よりよい医療ソーシャルワーカーを目指してまいります。



入社式



1泊2日で新人研修!! 知恵を出し合ってます!!

看護部 看護師 中川 真祐

リハビリテーション室 理学療法士 杉元 貴亮

3月に入職して約4ヶ月が経ちました。外来では多くの患者さんと接する機会が多く、一人一人との出会いを大切に、笑顔をやさしくこれからも頑張っていきたいと思っています。

少しずつ仕事にも慣れ始め、諸先輩方のご指導の下で毎日成長させていただいています。これからも、チームリハビリテーションの一員として、患者様とのコミュニケーションを大切にしたりハビリを目指して頑張っていきたいと思っています。

トピックス

自分で選択し、判断していく時代

内科医師 小山 朋之



近年、医療・健康に関わる色々な事柄がテレビやインターネット・新聞等で表に出てくる事が多くなりました。もちろん以前からドラマや関連雑誌・書籍は多くありましたが、最近は医療崩壊や医療事故といった社会保障問題が強調され、病気をテーマにしたバラエティ番組も増え、果ては自殺方法を教えるホームページまで登場する始末です。

ここでは普段医療情報の選択と判断を行っていく上での注意点(お願いも含めて)を、現場で働く一人として考えたいと思います。医療従事者から社会保障を述べても、多くの方々にはなかなか理解し難いことなので、控えておきます。

①患者さん自身の、病気について知りたいという欲求は極自然な事です。

皆、車を買う時は本で調べて店で試乗し、家を建てる・借りる時は不動産屋で調べて現地を見学し、香川にうどんを食べに行く時はガイドブックを読んで下調べするかも知れません。

ましてや自分の病気の事となると、インターネットや本屋の「家庭の○○」で隅まで目を通し、ご近所さん(気のせいかな近所の医者には尋ねる人は少ない)の意見を聞いて回りたくなる事も多いでしょう。医者自身が病気になっても、細分化された数多くの分野の中では自分の得意とする分野以外に関して疎くなってしまい、同僚に相談せざるを得ないのですから。



そういった情報を得る手段の中でも、今はあまりにもテレビの影響が大きくなり過ぎている様です。制作者が手配した、医師免許を持つゲストや司会者が、テレビ局の意図するシナリオに沿って番組を進めて行き、それをドキドキしながら見続ける視聴者。バナナや納豆は売り切れとなり(確かに美味しいです)、脳梗塞や癌の前兆に皆恐れおののく(確かに怖い)です。少しでも健康に興味を持ってもらえるならば、それは十分に素晴らしいと思います。..が、捏造が繰り返されますね。



どんな事でも同様ですが、全ての最終判断は自分がしなければなりません。得られた情報をそのまま鵜呑みにするか、話半分程度に捉えておくか、実に難しい所です。病気の事は専門性が強く、また人それぞれに体質体格・性格・持病・経済状態他多くの異なる点があります。情報が自分に当てはまるかは、それらを踏まえた上で考えていく事になります。では、どうするのか? 霊能力者に聞くのか?

医療従事者が出す結論はこれしかないでしょう。→「早めに受診して下さい」

「なんだ、それだけか!」→それが一番重要なのです。



調べた結果が当たったか外れたかは、結局医療機関に受診し診察や検査を進めた後まで分かる術がありません。調べて不安になるだけで受診しない病院嫌いな人を、結構多く見掛けます。自分も病院を受診するのは苦手です(長い間待たされるから..仕事しているとそんな時間取れません!皆一緒です)。

心配な点は、キチンと診察室で質問して下さい。正しい情報を患者さんに伝えて、より効果的に病気を防ぐ・抑えていくのも我々の大切な仕事ですから、可能な範囲で説明してもらえると嬉しいです(他の患者さん達でいっぱいの中では、要点を絞って少なめにお願いしますね)。

たまに心配し過ぎて神経を磨り減らしている人を見掛けます。不必要に情報を調べすぎない方が良いでしょう。ありそうですね。「病は気から」、程々に。

②受診してからも選択は迫られます。

今の時代は、「黙って座ればピタリと当たる」「難解な言葉で一方的な説明を受ける事に有り難がる」「おまかせで」等の患者さんにとって考えなくても良い楽なスタイルでは無くなってきています。検査にしても目的・方法・利点・欠点・偶発症を聞いた上で受けるかどうかを相談しますし、治療にしても同様です。その説明には、やや判り難い表現も含まれます。時には書面で渡される事もあるでしょう。患者さん自身がどこまで理解しているかは、本人にしか判りません(当たり前)から、判らない事はその場で聞いてもらうしかありません。



「うちのおばあちゃん、難聴で聞こえてないのに何でもフンフン頷くんです～」と言われると微笑ましくて和むのですが、もうお手上げです。本人が判断出来ない状態であれば、決定出来る家族と一緒に判断してもらわねばなりません。患者さん側に決めてもらう事が多くなると、医療提供側の負担・責任は軽くなるのでしょうか? いや、全然変わりません。患者さん本人が(純粋に医学的な立場から考えると)不利になる事を選択される場合もあります。もちろんキチンと説明はしますが、本人の性格や経済状態・家族関係他色々な要因でそうせざるを得ない時には、本人は元より家族にも医療提供側にも、より多くの負担が掛かってきます。最近始まった裁判員制度も診察室でも一緒です。裁判官や一般的に非常識とされる医師(現首相が言うのだから多分そうなのでしょう)に任せておけないので、専門知識があっても無くても参加して判断して進まねばならない時代なんだと思います。これはチャンスです。少しずつ知識が広がる事に加え、結果良ければより満足が大きく、そうでなくても悔いが少なくなる。

③でも権利が増えると、当然義務も増えるんですよね...

そして知らない方が良かったと思う事もあるのでしょうかね。

皆さん一緒に頑張っていきましょう。

新任医師紹介 診療部 内科医師 加古雅子



平成21年4月から勤務している加古雅子です。内科ですが、長年、回復期リハビリ業務に携わってきた経験があります。石川病院でも色々勉強させていただければと思っています。趣味は今のところありません。休日はもっぱら、近くの公園を散歩しています。よろしくお祈りします。